

緩和ケアチームと緩和ケア病棟における薬剤師レジデントの介入とその評価に関する観察研究

1. 研究の対象

国立がん研究センター東病院において 2025 年 6 月から 2026 年 3 月、2026 年 6 月から 2027 年 3 月の期間に、緩和ケア病棟で入院もしくは一般病棟で緩和ケアチームが介入した 20 歳以上の方

2. 研究目的・方法

緩和ケアチームは、医師や看護師、ソーシャルワーカーがそれぞれの職能を発揮し、がんなどの重い病気を持つ患者さんとその家族の、痛みや苦痛、不安などの身体的・精神的苦痛を和らげ、その人らしい生活を送れるようサポートする活動を行っております。そこには薬剤師も含まれており、その専門性を生かした積極的な関与が期待されております。

現在まで、薬剤師から医師へ処方提案し、実際に薬が処方された割合がおよそ 80%、そのうち症状緩和に貢献できた割合はおよそ 80%と報告されています。このように、これまでの研究では、薬剤師から医師への提案の件数やその割合の報告が中心であり、具体的な介入の内容やその効果を評価した報告はありません。また、医師から薬剤師への相談内容に関する報告也没有ありません。

この研究では、緩和ケアに携わる薬剤師が行っている支援や、医師・看護師など他の職種から寄せられる相談の内容を調べます。その結果をもとに、今後の緩和ケアの質をさらに高め、薬剤師の役割をより明確にしていくことを目指します。そのため研究対象者の診療録から治療歴などの診療情報を集め、解析を行います。研究実施期間は研究許可日～2028 年 12 月です。

3. 研究に用いる情報の種類

情報：病歴、治療歴、副作用等の発生状況 等

4. 情報の授受

本研究で得られたデータは、他の機関に提供されることはありません。

本研究で用いた情報を国内外の機関で実施する将来の医学的研究のために、研究終了後も大切に保管させていただきます。新たな研究に用いる際には、国内外の規制に則り、あらためて研究計画書を作成して研究倫理審査委員会の承認や研究機関の長の許可を受ける等、適正な手続を踏んだ上で行います。

なお、新たな研究の概要・研究機関については、新たな研究に関わる機関（情報の授受を行う機関すべて）公式ホームページ等にて情報公開いたします。

- ・国立がん研究センターが参加する研究に関する公開情報

https://www.ncc.go.jp/jp/about/research_promotion/study/zisshi.html

5. 研究組織・研究責任者

東病院 薬剤部 薬剤師	阿部 健太郎
東病院 薬剤部 薬剤師	酒向 あずみ
東病院 薬剤部 薬剤師	五十嵐 隆志

東病院	薬剤部	薬剤師レジデント	小田	亜貴子
東病院	薬剤部	薬剤師レジデント	古川	洸平
東病院	緩和医療科		三浦	智史
東病院	緩和医療科		竹内	瑞枝
東病院	緩和医療科		服部	友歌子

6. お問い合わせ等

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。
ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

情報が研究に用いられることについて研究対象者の方もしくは研究対象者の代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としますので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも不利益が生じることはありません。

なお、この研究が適切に行われているかどうかを確認するためや研究の科学的意義を検討するために、国内外の第三者の立場の者が研究対象者の方のカルテやその他の診療記録、研究データなどを拝見することがあります。このような場合でも、これらの関係者には守秘義務があり、個人情報は守られます。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：
国立がん研究センター東病院 薬剤部 阿部 健太郎
〒277-8577
千葉県柏市柏の葉 6-5-1
電話番号：04-7133-1111